

♪ サポランド News ♪

2021.4月号
VOL.13

【発行】 特定非営利活動法人 在宅支援センターサポートランド二十一

〒819-0373 福岡市西区田尻 2707-3 TEL・FAX (092) -807-4477

在宅支援センター
ひだまり

〒814-0162
福岡市早良区里の原団地32-104
TEL092-874-5003
FAX 092-874-5009
Email hidamari33@sand.ocn.ne.jp

障がい福祉サービス事業所
わくわくランド

〒819-0383
福岡市西区周船寺 3-3-1
TEL092-834-9963
FAX092-834-9964
Email wakulandworks@yahoo.co.jp

今津特別支援学校 放課後等支援事業
ほのぼのルーム

〒819-0165
福岡市西区今津 5413(今津特別支援学校内)
TEL092-806-8182
FAX092-806-8182
Email honobono@dune.ocn.ne.jp

各事業所の活動は <https://www.support-land21.com> で紹介しています。

ニュース・ブログ等更新していますので、毎日ワンクリックのご支援をお願いします☆

★わくわくランド★



朝夕が過ごしやすくなり、日中は半袖でも過ごせるほど気候が良くなりました。わくわくランドでも3蜜をさけ、感染予防を徹底した上で散歩やドライブなど、少し外に出かける活動を増やしていこうと思います。

ワクチンが開発され安堵感が漂っていますが、気を緩め過ぎると一気に感染が拡大します。他県では緊急事態宣言が解除された直後に感染者数が増加しています。今一度、自分たちができる感染予防を心がけましょう。

障がい福祉サービス事業所 わくわくランド

施設長 小林 潤也

舞鶴高等学校様 清掃ボランティアに来ていただきました！

★日頃よりわくわくランドへのご支援をありがとうございます。

4月の予定

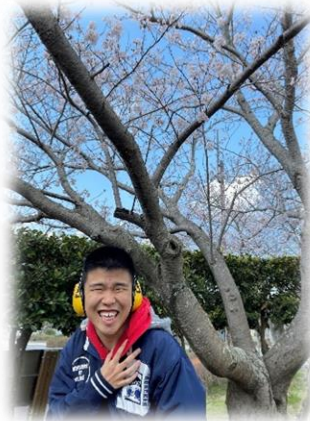
1日(木) わくわく休所
3日(土) 射的
10日(土) 運動会
17日(土) すごろく
21日(水) 早帰り(～14:00)
24日(土) 壁飾り作り
29日(木) 昭和の日(わくわく休所)

5月の予定

1日(土) 鯉のぼり作り
3日(月) 憲法記念日(わくわく休所)
4日(火) みどりの日(わくわく休所)
5日(水) こどもの日(わくわく休所)
8日(土) 手紙作り(母の日)
15日(土) 魚釣りゲーム
21日(金) 早帰り(～14:00)
22日(土) 巨大かるた大会
29日(土) 壁飾り作り

お花見

もう暖かい季節になってきましたね♪今年は桜の花も満開になるのが早く、わくわくランドでは早速、みなでお花見をしに行きました★桜の下で記念写真を撮ったり、桜の花びらに触れてみたりと、春の陽気を感じることができました(^_^)



今月のスタッフ紹介

名 前：佐野 文哉

誕生日：11月17日

趣 味：魚釣り

好きな食べ物：チキン南蛮



☆わくわくランド紹介動画☆

<https://youtu.be/WmBhcyF0Pil> で検索。もしくは右の QR コードへ！



連日の支援、お疲れさまです。暖かい日が増え始め、花粉も大量に飛散しています。

新型コロナウイルスの脅威が未だ存在していますが、緊急事態宣言は解除され、ワクチンは準備ができ次第、接種開始と報道されています。少しずつ終息への希望が見えはじめましたが、気を緩めることなく、感染防止に取り組んでいきましょう。

管理者 見川 雄太

ヘルパーミーティング

4月となり、新年度を迎えました。学齢期の利用者様は1学年進級され、小学校から中学校、中学行から高等学校へ学校が変わるなど、環境の変化が大きい時期となりました。

在宅支援センターひだまりでは、基本的に受給者証の期限に合わせて1年間の契約を行い、それに合わせて各利用者様の個別計画書を作成していますが、1月～12月や、4月～翌3月等、1年間という単位で考えると、4月というのは、利用者様の1年間の成長・変化に気が付くことができる良いタイミングだと思います。

さて、現在自分がサービスを請け負っている利用者さんの変化は何があったでしょうか？もちろん、〇〇が出来るようになったなど目に見えるものであれば分かりやすいと思いますが、それ以外にも、学校が変わった・クラスが変わった・新しい家族が増えたなど環境に依るものや、他の福祉サービスを利用し始めた・関わるヘルパーさんが増えた（変わった）など身近な変化も大切なことです。変化に気が付き、スキルアップを行うためには、『観察する』ことがとても重要になってきます。

介護における「観察」とは、利用者の状態や変化を客観的に注意深く見ることです。この「客観的に」というのが大きなポイント。自分ではきちんと観察しているつもりでも、そこに自分の考え「主観」が入り込んでしまうと、観察ではなくなってしまいます。

たとえば、「機嫌が悪くて着替えを嫌がった」という場合。

「着替える行為を嫌がった」というのは客観的な事実ですが、「機嫌が悪く」というのは見た人の主観です。

何か周囲の環境に気がかりなことがあったのかもしれませんが、痛みや痒みなどの体調不良があったのかもしれませんが。また声のかけ方やタイミングが悪かったのかもしれませんが、単に心の準備ができていなかったのかもしれませんが。

どうして利用者が更衣を嫌がったのか、本当のところは介護者には分かりません。分からないことを「機嫌が悪かった」という主観で片付けてしまうと、次に同じことが起こっても、「たまたま機嫌が悪いだけ」「突然怒り出す人」といった浅い推察で終わってしまいます。

ここで目線やしぐさ、利用者の言動をしっかり観察する力があれば、「もしかしてこれが気になるのかな？」「喉が乾いているのかな？」「この言い方が嫌だったのかな？」と推察することができます。

(1) 「主観」で決めつけるのではなく、「観察して仮説」を立てる。

(2) 仮説に従って試してみる。

(3) 試したことがうまく行けば、仮説が合っていることの裏付けに。



うまく行かなければ、(1)に戻ってやり直す。この3つのステップの繰り返しが、介護のスキルをアップさせていく大きな原動力。

(1)のステップで的確に観察できていれば、(3)でうまく行く可能性が高くなります。ですから観察力を磨くことは、介護スキルのアップには必要不可欠なことだと思います。従業員の皆様も、少しでも意識して支援に臨んでいただこう、お願いいたします。

お出掛け日記



利用者様とお出掛けしてきました！

新型コロナウイルスのため、ルートを考えての外出となりましたが、桜が満開で、とても気落ちの良い時間でした。このあと、桜の下でおやつを食べました（^^）



ほのぼの通信4月号



暖かい春の陽ざしが桜の花をいっせいに咲かせました。新学期を迎えて、児童生徒・保護者の皆様も、胸を弾ませておられることと存じます。先生やお友達と、早く仲良くなって、楽しい学校生活を送れるようにと願っています。

新設されたほのぼのルームでの活動が始まりました。看護師や支援員一同、皆様と一緒に過ごす時間を楽しみにしています。ご家庭の急な用事や、保護者様のリフレッシュのためのお預かり等にも対応できるようにしていきますので、ご遠慮なく相談等をお寄せください。

「放課後等支援事業」は福岡市こども未来局が作った、各特別支援学校内での一時預かりの公的事業です。今までの保護者様の強い要望にこたえる形で創設され、10年余が過ぎました。その頃は、福岡市には児童デイサービスが設置されておらず、各特別支援学校での取り組みは大変必要とされていました。今では沢山の「放課後等デイサービス」の施設ができ、活動の場が増え、保護者様にとっても心強い支援の輪が広がってきています。「ほのぼのルーム」では、経験と実績を生かしながら、他のサービスと併用できる強みを生かして、今年度も頑張ってまいりますので、どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

放課後等支援事業 ほのぼのルーム

管理責任者 山口孝太

責任者補佐 若木律子

活動のテーマとしては、一人一人の安全の確保を基本に、さらに「心地良さ」を主題として取り組んでいます。光・風・音楽・笑顔・温かい声かけなどを通して、楽しく安心して過ごせる環境の調整を大切にしています。

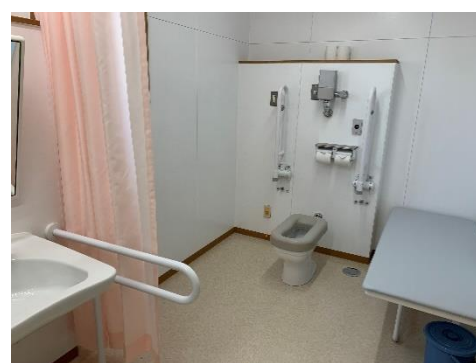
【施設紹介】



新建屋が形を表しました！



広い…ひろい…ヒロイ～



トイレも使いやすそうです

【活動紹介】



お散歩に行きます



ふくふくの里へ 菜の花いっぱい



おひなさます(´_`)☆